

企業等による遊休農地活用に向けた実証実験を開始します

近年、農業従事者の高齢化や後継者不足により、全国的に遊休農地の増加が深刻化しています。農地は一度遊休化すると、数年で荒廃が進み、雑草の繁茂や病害虫の発生など、周辺の耕作地に悪影響を及ぼすほか、耕作可能な状態に戻すには多大な費用と労力を要します。福岡市においても遊休農地は増加傾向にあり、新たな遊休農地の発生防止や既存の遊休農地の活用が課題となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、企業・団体等による遊休農地の有効活用に向けた実証実験を開始します。

作付けや収穫などの農業体験活動を企業の社員研修や福利厚生などのプログラムとして取り入れることにより、農地の保全と関係人口の増加による農地の活性化を図るものです。

つきましては、第1回目となるキャベツの作付けを下記のとおり実施いたします。

取材を希望される場合は、9月18日（木）までに下記担当までご連絡くださいますようお願いいたします。

農地活用促進プロジェクト

- **日 時** 令和7年9月22日（月）9：00～作業終了次第（1時間程度見込）
※雨天時は、9月26日（金）に延期します。
延期の場合は、9月21日（日）17時までにご連絡します。
- **概 要** 内 容：キャベツの作付け
実施場所：福岡市西区今宿青木
集合場所：株式会社JAファーム福岡
（福岡市西区今宿青木251-1）
- **参加者** ・株式会社LANDICホールディングス 様
・株式会社O・B・U Company 様
・株式会社ホンプロ 様
- **スケジュール** 9：00頃 集合・作付け説明
9：10頃～ キャベツの作付け
- **今後の流れ** ・10月6日（月）追肥・白菜作付け ※予備日は10月10日（金）
・1月下旬ごろ 収穫 ←ぜひ取材をお願いいたします。



「問い合わせ先」

農林水産局農業政策課 永田、小川 [電話 092-711-4851]